

会員のひろば

これからのわたしの 生きがいについて

阿武野三班
濱上昌吾

これまで39年余りのサラリーマン生活において出来なかつた趣味とボランティア活動および、就業の三点をバランスよく行えるシルバー人材業務で芥川緑地の駐車場管理に、本年1月より従事いたしました。それから3ヶ月仕事。人間関係に慣れた時点であくあびあ芥川で川のボランティアを定例的に行う事にした。

川のボランティアは、人間の育成に必要な連帯感の向上・清掃活動・特定外来生物による川の環境を守るといった点でやりがいのあるボランティア活動と思います。その他、町の清掃活動・クリーン&マナーアップ活動に参加する予定です。今頃時間的に余裕が出て来て趣味と会員との交流とパソコンのスキルアップを目的



にシルバーのパソコン同好会に入会しました。これら一日一日完了してまた一日一日が始まる事とその都度人との出会いに生きがいを感じます。また川のボランティアでは、その他芥川緑地公園内の生物・草花・昆虫・魚等の講座が開かれ新たな出会いが生まれます。子供の頃、田舎で、当時今みたいに玩具がなかつた頃に山野では草笛等自然の玩具で、河川・海では魚釣り、魚取りをして遊んだ記憶がよみがえって来ました。こういった自然と触れ合える事に生きがいを感じます。サラリーマン生活時には社会環境、人間環境の希薄な時代を生きて来ました。これからは共通の就業・ボランティア活動・多趣味を生かして暮らしていきたいと思っています。

北の大地の贈り物

磐手五班 みよ

♪海青く白い波が月 ファンタオレンジのコマーシャルの声に瞬間に心をわしづかみされ松山千春さんを知った瞬間です。その頃は二人の子供に全ての時間を使って子育て中の私はテレビラジオはほとんど無縁の生活でした。そんな中、久しぶりに見たテレビ「ベストテン」に旭川のコンサート会場からの中継で、はじめてこの目で千春さんを見る事が出来た時でした。黒柳さんが「やつとやつと出て頂けました」とおっしゃってました事、今でもはつきり覚えています。それから時間は作ってレコードを聞いて数少ない情報の中で日々千春さんの歌に寄り添って生活していました。ひとつひとつの言葉が心にささり、どの様な環境でどの様な人生を歩んでこられたらこんな詩が書けるのだろうか、そんな中、千春さん二十三年の時に書かれた自伝「足寄より」を読ませて頂き私の二十三年の人生と比べ深い人生を感じました。憧れのコンサートも子供も少し成長し三年間位は三人で行きました。結婚された事、お嬢さまが



旧足寄駅(映画「旅立ち～足寄より～」ロケセット)

誕生された事、ご両親、お友達、足寄への思いも全て春と秋の年二回のコンサートで知りました。千春さんの人生と共に私も歩んで来た様に思います。心をわしづかみにされた時から早四十一年。三十才だった私も共に年を重ね変わらぬにこれからも変わる事なく歩んでいけるのは、考え方、生き方が好きだからです。一人の平凡な主婦の人生を彩りある心豊かな人生にして頂きました。昨年七十才のお祝いに孫がピアノの発表会で「大空と大地の中で」を小さな手で力強く弾いてくれました。女の子の孫達と三人で来夏足寄を訪ねます。私は七回目の足寄です。沢山の心に残る言葉、命ある言葉を頂きました。感謝です。「人を信じたら最後まで信じきれ」が私の一番です。